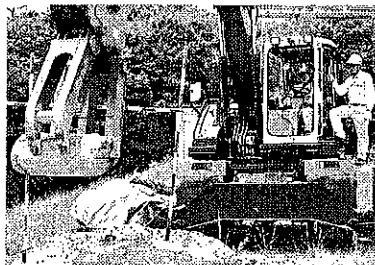


8月5日(金) 建設工業



大建協

大阪建設業協会（奥村太
加典会長）は3日、兵庫県
三田市の三田建設技能研修
センターで「夏休み体験セ
ミナー」を開いた。将来を
担う高校生に建設業の役割
と楽しさを理解してもらつた
のが目的で、今回で8回目。
参加した学生は講師の説明

高校生19人参加し体験セミナー

を受けながら建設機械に試乗したり、鉄筋・型枠を施工したりして建設技術に触れた。 これらに対する夢や希望を持って建設業界に入職することを心から願っている」とあります。

セミナーは同協会労働委員会が企画。府立布施工科高校、大阪市立の工業高校と都島工業高校の3校から女子生徒2人を含む19人が参加した。

開講式で労働委員会の下運転席のレバーの操作方法に分かれ、午前は高所作業車と油圧ショベルの運転を体験。高所作業車は約12㍍の高さまで上昇。油圧ショベルはエンジンのかけ方や

せる社会資本整備を担って、移動させ、操作に挑戦している。その重要な役割を体^{ニ写真}感であり、地図に残るものをつけたやうがいと大きな醍醐味（だいごみ）がある。仕事だ。ぜひ保護者をはじめ友人や後輩にも本日の体験を伝えてほしい。ものうに手渡された。

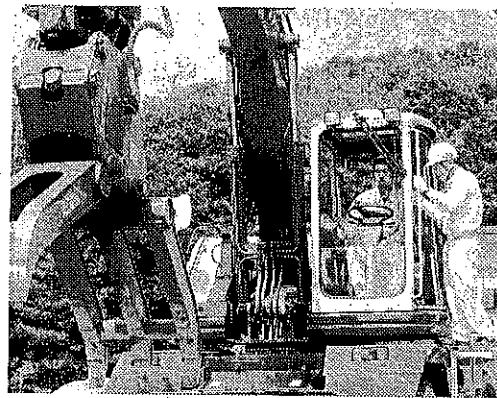
午後は鉄筋と型枠の施工実技が行われ、基本知識を学んだ後、型枠の組み立てや鉄筋の配筋などを取り組んだ。最後に修了証が学生

高校生が建機に挑戦

大建協

大阪建設業協会は3日、兵庫県三田市の三田建設技能研修セ

夏休み体験セミナーに20人



油圧ショベル体験

若年建設従事者の入職促進の一環で毎年この時期に行っているもので、今回は府立布施工科高と大阪市立の工芸高、都島工業高の3校生徒と引率の教諭ら約20人が参加した。

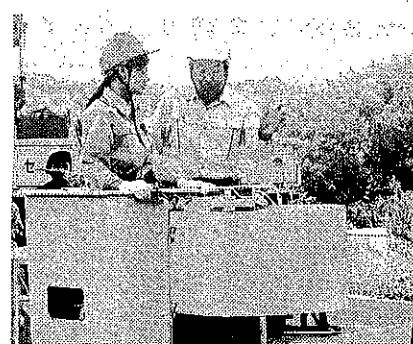
講習に先立ちあいさつに立つた同協会労働委員会の下西喜久

ンタ実習場で、高校生を対象とした夏休み恒例の体験セミナーを開いた。大阪府内の高校生が、建設機械の運転などに挑戦した。

同年建設従事者の入職促進の一環で毎年この時期に行っているもので、今回は府立布施工科高と大阪市立の工芸高、都島工業高の3校生徒と引率の教諭ら約20人が参加した。

ある仕事だ。皆さんにはぎょうの体験を友人や後輩たちにぜひ伝えてほしい。そして1人でも

多くの夢や希望をもって建設業界に入ることを期待している」とエールを送った。



高所作業車の体験

この日は外気温が35度近い猛暑に見舞われたが、参加した生徒らは熱心に作業に取り組んでいた。引率教諭のひとり・布施工科高の小倉一浩指導教諭は「重機に触れる機会は意外と少ない。生徒にとって貴重な体験になつたと思う」と話していた。

午前の部は油圧ショベルと高所作業車の運転席に乗り込み、同センター講師の丁寧な指導を受けながら交代で機械を操作した。午後からの型枠・鉄筋作業体験では、実技教材をモーテルに

した組み立てに挑戦した。

8月5日(金) 建設産業

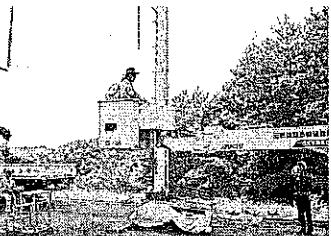
建機の運転など体験

夏休み体験セミナー開催

建協

大阪建設業協会は3名と建築・都市工学科1日、三田市香川の三田技能建設研修センター実習場で「16年度夏休み体験セミナー」を開催した。今年は、府立布施工科高等学校建築システム専科2年生12名、市立工業高等学校建築デザイン科2年生3名、市立都島工業高等学校建築科2年生2名、環境管理部長は建設業

高所作業車を体験



セミナーだが、この機会を通して、建設分野に関する専門知識や技術・技能

を身に付けてもらい、夢や希望を持って建設業界に入職されることを願っている」と挨拶を述べた。

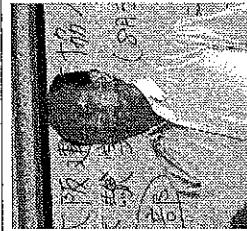
開講式が終わると実習場に移動し、午前は、高所作業車や油圧ショベルの建設機械を運転、午後は、大型施工・鉄筋施工の組立作業や一般知識・使用者の取扱いなどについて学び、体験を行った。

今回で8回目となるこの

8月5日(金) 大阪工業会

大阪府下3校から意欲の実習 三田建設技能研修にて「体験セミナー」

一般社団法人大阪建設
業務委員会太加賀会長
は三日、兵庫県三田市香
川下の三田建設技能研修セ
ンター・実習場で、若年
建設従事者の入職促進事
業の一環として、高校生



西委員 開講の挨拶を述べる下

を対象とした「夏休み体
験セミナー」を開催。大
阪府下の工科系高校など
三校の生徒十九人及び引
率の各校教員が実習等に

乗り込み、一時間半ほど

午前八時にJY環状線

開講式で、主催者を代

表して下西賀久同賀会長

が「このセミナーは今回

で八回目を迎えること

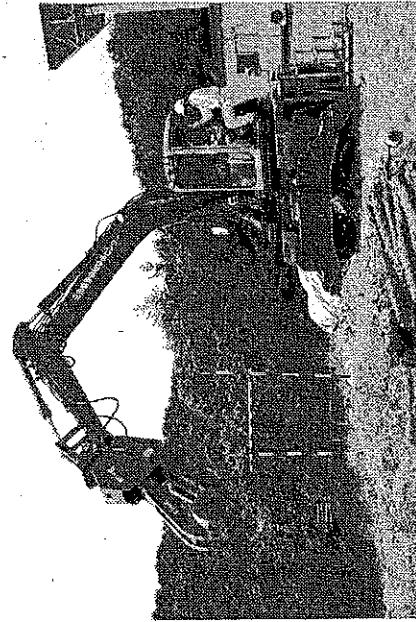
なった。一日の限られた

時間がたが、午前は建設機

械の運転、午後は鉄筋

組立等作業を実施。実

習終了証が授与され、無事セ



講師の指示を聞きながら建設機械の操作にチャレンジする生徒ら

で同センター・実習場に到着した。

作にチャレンジ。用意さ

れた高所作業車、油圧シ

ョベルに乗り、講師の指

示を聞きながらアシセ

ルやレバ操作も最初は

恐る恐るだったが、操作

のコツを掴むと、あとは

機敏な動きになり操作を

していった。

屋敷後は、鉄筋施工組

み立て作業を実施。実

習教材をモテ

ルにした加工

基本から安全

な使い方を学

びながら型枠

作業に汗を流

いた。

修了証が授与され、無事セ

型施工の施工体験を実

施するので、有意義な一

日を過ごしてもらいたい

。熊本地震をはじめ毎

年のように自然災害が発

生するなか、建設業は防

災・減災への取り組み、

安全に暮らせる社会資本

整備を担う重要な仕事だ。

生徒の皆さんには、安全に暮らせる社会資本

を守るために本日の体験是非伝

えていただき、セミナーをきっかけとして、一人

でも多くの方が夢や希望

をもって建設業界に入職

されることを期待しています。

そして午前中のプログラム

の建設機械の運転操

作にチャレンジ。用意さ

れた高所作業車、油圧シ

ョベルに乗り、講師の指

示を聞きながらアシセ

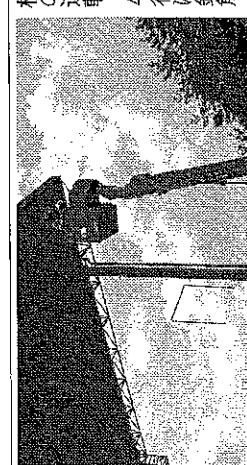
ルやレバ操作も最初は

恐る恐るだったが、操作

のコツを掴むと、あとは

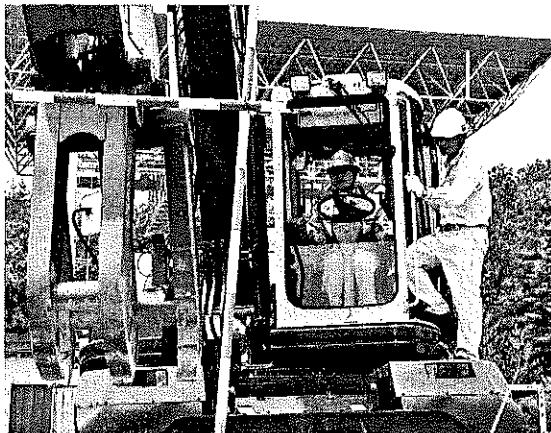
機敏な動きになり操作を

していった。



高所作業車で屋根部分に近づいた。

女子生徒が重機操作 引率教諭も感心



講師の指導を受けながら上手に油圧ショベルを操作する女子生徒

「女子生徒も上手に重機操作」。大阪建設業協会(奥村太加典会長)主催の高校生を対象とした実技体験ができる夏休み体験セミナーが3日、兵庫県の三田技能建設研修センターで開かれた。大阪府内の高校で建築を学ぶ生徒19人が参加し、油圧ショベルなどの重機操作や型枠・鉄筋施工を体験。重機操作に挑んだ1年生の女子生徒は「初めてだつたけど、すごく面白かった」と重機を使つた土木作業で建設業への興味を深めているようだつた。はだから見守つていた布施工科高校の小倉一浩教諭は、「子どもたちの性格が作業の端々に表れていた」と生徒の重機操作ぶりを感心していた。※詳細は7面掲載

「知るきっかけに!」
大建協夏休み
体験セミナー
1面関連 大阪建設業
協会の夏休み体験セミナーは今回で8回目。若年建設従事者の入職促進の一環として、府立布施工科、市立工芸、都島工業の3校から1~2年生の生徒19人(うち女子生徒は2人)が参加した。午前は2班に分かれ、高所作業車と油圧ショベルの試乗、午後からは3班に

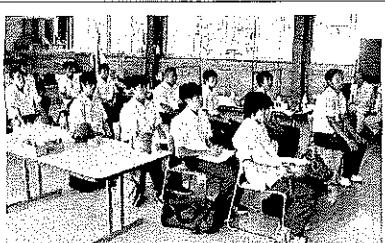
分かれ、鉄筋・型枠の施工を体験した。

冒頭、あいさつに立つた、同協会労働委員会委員の下西喜久・浅沼組本社安全・環境管理部長は、

「建設業は、皆さんのが安

心して暮らすための社会資本整備を担う重要な仕事。体験セミナーを一つのきっかけに、建設分野に関する専門知識や技術、技能をたくさん身に付けてほしい」と語った。

型枠施工では、実技教材もモデルにした加工組み立てなどを体験。鉄筋施工では、一般知識として、施工図、加工図、選定材料の切断・組み立てなどを学んだ。体験を終えた生徒には、下西部長から修了証が全員に手渡された。



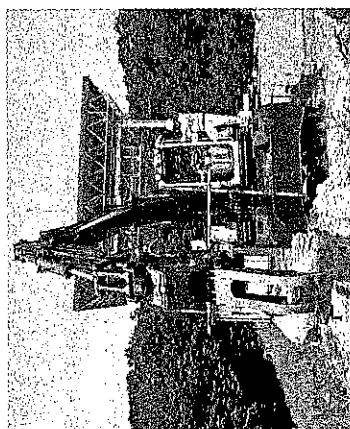
開校式であいさつ
つを開く生徒ら

引率した若手男性教諭は、「学校では学べないことがここにある。物を作る楽しさを知るきっかけになればいい」と話す。

8月18日(木) 建設業規制

高校生を対象に「夏休み体験セミナー」

大建協 型枠・鉄筋施工 試験機建設



建設機械の試乗も



型枠組み立てを体験

大阪建設業協会(奥村三枝から九人が参加した。太加賀会長)では、高校生を対象とした「平成二十九年度夏休み体験セミナー」を三百、兵庫県三田市の三田技術研修センターで開催した。若年者に対する人材促進活動の一環として、同協会委員会が主催しているもので、今回も大阪府下から多くの企業における人材確保が課題となる中、学校における技能教育の不足や企業に対する理解度を高める目的で、建設業界における建設業に対する理解を深め、建設業に対する理解を深めることを目的とした。このセミナーは、建設業界における人材確保が課題となる中、学校における技能教育の不足や企業に対する理解度を高める目的で、建設業界における建設業に対する理解を深めることを目的とした。

来の進路選択の上で参考にすることを目的に実施しており、今回で八回目の開催となる。なお、今回の参加校は、開講にあたり主催者を代表して挨拶に立つた下西賀久委員長（滋賀組本専科二年生三人）▽社会安全・環境管理部長（大阪市立工業高校建築学科卒業生三人）▽建築業の役割を述べるとともに、将来の業界を担当する者（都工専科二年生三人）、建築題であるとして、「このセミナーには、下西委員から参考にしてもらうことを目的に実施しております。今後は、下西委員から参考にし、修了証が交付されたりした。」と述べた。